



2024年6月27日

各位

会社名 株式会社城南進学研究社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 下村 勝己  
(コード 4720 東証スタンダード市場)  
問合せ先 常務取締役執行役員 CFO 杉山 幸広  
TEL 044-246-1951

## 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、本日、関東財務局に提出いたしました2024年3月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 開示すべき不備の内容

人的リソースにつきましては人員補充を行い一旦改善したものの、期末決算において適切な決算財務報告に対応できる必要かつ十分な人員及び運営体制を構築できておりませんでした。その結果、社内のチェック体制が不十分であり、収益認識基準や固定資産の計上基準等の会計上の整備運用が不十分だったことにより決算作業及び監査スケジュールに遅延が生じたこと等、監査法人より指摘を受けております。

#### 2. 当事業年度末までに是正できなかった理由

昨年度の指摘を受けて人員補充や外部リソースの活用、決算の早期化など、第3四半期決算までは改善が進んでいたものの、当社グループの期末決算業務において、期末近くの経理担当者退職に伴う人員の補充などが間に合わなかったことや、新規事業等の多様化する取引等の会計処理の検討も含め、決算業務を十分かつ適切に遂行できる体制を構築することができなかったためであります。

#### 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社グループは、決算財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、今後は以下の方針に基づく再発防止策を講じ、決算財務報告に係る内部統制の重要な不備を是正し、翌期連結会計年度においては適切な内部統制を構築し、整備運用する方針であります。

- ①人的リソース不足を解消するための人員の補充及び業務担当の見直し
- ②外部専門家の更なる活用（決算業務に加え、期中の業務における外部専門家との随時の連携体制の構築）
- ③プロジェクトマネジメント手法による、決算スケジュール及び進捗状況の管理強化
- ④内部統制の強化による決算財務報告プロセスの改善及びモニタリング体制の構築

4. 財務諸表及び連結財務諸表に与える影響

なお、監査法人より指摘を受けた必要な修正は全て連結財務諸表等に反映しており、これによる財務諸表監査に及ぼす影響はありません。

5. 財務諸表及び連結財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上